

タケシールC7-NA工法 平場部

工 程	使 用 材 料	使 用 量	方 法	※1 次工程までの作業間隔
下地処理			下地を洗浄し、十分に乾燥 必要に応じ、ガチンフィルターにて下地調整	
プライマー塗布 (接着剤塗布)	タケシールE-500プライマー	0.3kg/m ²	タケシールE-500プライマーのA液とB液を1:4 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛で塗布	1時間以上 2時間以内
通気緩衝シート 貼り	通気緩衝シート CRW3330L	1.0m ² /m ²	シワがよらないように通気緩衝シート CRW3330Lを貼り付け	1時間以上 6時間以内
脱気筒設置	タモステンス脱気筒	1箇所/ 30~50m ²	所定の場所にタモステンス脱気筒を設置	
ウレタン防水材 塗布1回目	タケシール1液NEO+	2.0kg/m ²	タケシール1液NEO+をコテ、ヘラ、ローラー、刷毛 等で塗布	24時間以上 3日以内※2
ウレタン防水材 塗布2回目	タケシール1液NEO+	1.9kg/m ²	タケシール1液NEO+をコテ、ヘラ、ローラー、刷毛 等で塗布	24時間以上 3日以内※2
トップコート塗布	タケシールSストップ	0.12~0.15 kg/m ²	タケシールSストップのA液とB液を1:10 の重量比で混合した塗布液をローラー・ 刷毛等で塗布	養生時間 24時間以上
設計膜厚		3.0mm		

※1 作業間隔は気温20℃晴天時の場合のもの

※2 タケシール1液NEO+塗布後3日(72時間)以上経過した場合は塗膜表面をタケシールECOシンナーを染み込ませたウエスで清掃し、
タケシールNo.400プライマーを0.1kg/m²程度塗布した上、次工程に移ること

立上り部

立上り部は **タケシールC4-NAT工法**

